



日刊工業新聞

2003年(平成15年)

1 28

★★15期

発行所 日刊工業新聞社 2003

Business & Technology

第19023号 火曜日

s & Technology

2003年(平成15年)1月28日 火曜日

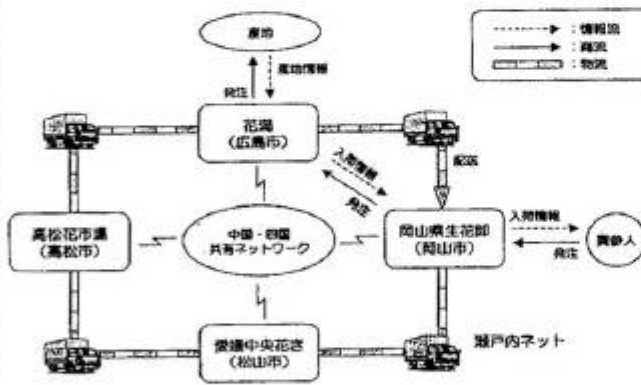
32

中国・四国の花き卸4社

市場間で共有ネット形成

共同仕入れ 相互流通 コンソーシアム構築へ

花き市場間の共有ネットワーク



岡山、広島、高松、愛媛の花き卸売企業4社が、花き市場間の共有ネットワークを形成、商品の共同仕入れと相互流通を可能とするコンソーシアムを構築する。競争が激化する花き業界において、県境を越えた市場間のネットワークを形成するのは今回が初めてのケース。花き業界の活性化に向けた取り組みとして、関係者の注目を集めている。

ネットワークの名称は「市」、高松花市場（高松市）、瀬戸内ネットワーク（瀬戸内ネットワーク）、愛媛中央花き（松山市）、岡山県生花卸（岡山市）の4社が参画、このほど農林水産省の食品

流通高度化プロジェクト事業のモデル事業に採択された。4社の年間取扱高は合計185億円となり、東京や大阪の大手卸売企業とほぼ肩を並べる規模となる。

計画では、4社がウェブ上で相互に産地情報を交換できる共有ネットワークを形成、新たな取引と物流の仕組みを構築する。例えば、岡山県生花卸で広島の花満のサイトから購入したい商品があれば、ウェブ上で岡山県生花卸を通じて発注し、4社間を結ぶ定期便で配送される。このため、4社がウェブ上で一括仕入れすることで、大手産地との取引が可能となるほか、共同配送システムにより鮮度や価格での競争力を高められる。

システム開発は4社が、パーソナル情報システム（東京港区、片桐良行社長）と共同で推進、今回の地域ネットワークを構築することで、全国各地の花き市場連携のモデルを目指す考え。

中堅・中小企業・ベンチャー